※令和３年度以前入学生用

学校番号	220

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	国語表現　改訂版（大修館書店）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１、２年次に学習した内容をさらに発展させ、伝え合う力を高めましょう。
・自身の意見や考えを話したり、文章で適切に表現したりできる力を養いましょう。
・語句などの意味を理解し、知識を増やしてゆきましょう。

２　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育む。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりしている。話し合いを通して、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	授業内における行動 ノートやワークシートの記述	発表の観察 ノートやワークシートの記述 授業内における行動 発問への反応	授業内における行動 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 発表の観察 発問への反応

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	e		
1学期	1 書いて伝える	○整った文を書く ○文のつなぎ方 ○絵や写真を見て書く	○		◎	○	a:主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなどを意識して、整った文を書こうとしている。 c:伝える相手を意識して、わかりやすく正確な文章を書ける。 e:図や写真を見て文章を書き、相手に伝わるような文章を書くために必要な知識を身に着ける。	a:行動の観察 c、e:記述の観察 e:発問への反応
	2 小論文・レポート入門	○小論文とは何か ○反論を想定して書く ○文章、統計資料を読み取って書く	○		◎	○	a:小論文の基礎を理解し、自分とは異なる意見や対立意見を考慮しながら書くことの意味を理解できている。 c:現代社会に関する文章や資料を読み取り、それに対する自分の意見をまとめることができる。 e:接続表現や文章の構成に関する知識を身に着けている。	a、c:行動の観察 c、e:記述の観察 e:発問への反応
2学期	3 自己PRと面接	○効果的な自己PR ○志望動機をまとめよう ○面接にチャレンジ	○	◎		○	a:経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考えようとしている。 b:卒業後の進路やキャリアに関して調べたことをふまえて、志望動機をまとめ発表できている。 e:自身の伝えたい内容が伝わる話し方を理解し、身に着けることができている。	b:発表の観察 e:行動の観察 a、e:記述の観察
	4 会話・議論・発表	○相手や場面に応じた会話 ○建設的な議論の仕方 ○プレゼンテーションの工夫	○	◎		○	a:場面にふさわしい言葉遣いで話そうとしている。 b:司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 e:視覚的資料を用いた効果的なプレゼンテーションの方法を理解している。	a、b:行動の観察 e:記述の観察 b:発問への反応
3学期	5 メディアを駆使する	○通信文を書き分ける ○ネット社会とコミュニケーション	○		◎	○	a:それぞれのメディアの特質と、メディアによる伝わり方の違いを意識している。 c:メディアに関する文章を読み、それに対する自身の考えを書く。 e:メディアによって異なる表現の仕方を身に着けることができている。	a:行動の観察 c、e:記述の観察 e:発問への反応

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　c:書く能力　e:知識・理解

※令和３年度以前入学生用

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」）に関わる観点には◎を付している。